

食品分析セミナー

～ 食品分析の最前線：香りとオフフレーバー、
残留農薬分析、メタボローム解析 ～



開催概要

| 主催 |

アジレント・テクノロジー株式会社
林純薬工業株式会社

| 日時 |

2024年4月17日(水)
10:00 - 17:00 (予定)

| 会場・定員 |

オンライン 500名
林純薬工業セミナールーム 若干名

| プログラム |

右記の通り
特別講演の要旨は裏面に記載

| 参加費 |

無料

| 申し込み方法 |

アジレントウェブサイトから



<https://aglt.co/2now>

問合せ先:

アジレント・テクノロジー株式会社
セミナー事務局
電話: 0120-477-111
e-mail: lsca_agilent@agilent.com

林純薬工業株式会社

試薬化成品部分分析用標準品・
受託合成グループ
e-mail: mpd.ml@hpc-j.co.jp

拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も食品分析の最新情報等を提供するセミナーを開催いたします。
セミナーでは、上田 泰人 先生と株式会社 食品検査・研究機構 安藤 孝 先生をゲスト講師
にお招きして、食品分析の最新情報に関する特別講演を賜ります。
林純薬工業株式会社およびアジレント・テクノロジー株式会社から、食品分析に役立つ機器
分析と試薬などに関する情報をお届けいたします。

皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

敬具

10:00 - 10:10	ご挨拶
10:10 - 11:10	特別講演 オフフレーバー分析の実際について 上田 泰人 先生
11:20 - 11:50	おい分析を始めるにあたって～オフフレーバーワークフロー初級編～ アジレント・テクノロジー株式会社
12:00 - 12:30	オフフレーバーキットと使い方 林純薬工業株式会社
12:40 - 13:10	メタボローム解析技術を用いた 食品中の機能性成分の一斉解析手法のご紹介 アジレント・テクノロジー株式会社
13:30 - 14:50	特別講演 SFC-TOF MS の特性を生かした残留農薬分析 ～標準添加回収検量線による真値へのアプローチと SFC 特有のイオン化に関する考察～ 株式会社 食品検査・研究機構 安藤 孝 先生
15:00 - 15:50	MassHunter 最新機能を用いた残留農薬分析における データ解析の効率化と自動化 アジレント・テクノロジー株式会社
16:00 - 16:30	機器のトラブルシューティングを数日から数分に短縮する方法 アジレント・テクノロジー株式会社
16:30 - 16:50	残留農薬分析に使用する標準品、標準液の管理 林純薬工業株式会社
16:30 - 16:50	トークセッション (質疑応答を含む)

各講演の間には休憩時間が入ります

SFC-TOF MS の特性を生かした 残留農薬分析

～ 標準添加回収検量線による真値へのアプローチと
SFC 特有のイオン化に関する考察～

講師 株式会社食品検査・研究機構 安藤 孝 先生

要旨

標準添加回収検量線、標準添加検量線、マトリックス検量線、絶対検量線を比較検討した結果を報告する。また、GC-MS 測定中に一部が o,p'-DDD や o,p'-DDE に変化する o,p'-DDT を SFC-TOF MS で測定してみた際の特異的なイオン化挙動について報告する。

HPC/Agilent セミナーウィーク 2024 その他のプログラム

- ・参加登録いただくと、すべての講演を視聴いただけます。
- ・各講演の間には休憩時間が入ります。
- ・プログラムは予告なく変更になる場合があります。

時間	タイトル	演者情報 (部署・氏名)
Day 1 : 4月16日 (火) 化成品・材料分析セミナー		
13:30 - 13:40	ご挨拶	
13:40 - 14:40	特別講演 カーボンニュートラル実現に貢献する高性能次世代電池の開発と将来	京都大学 大学院工学研究科 安部 武志 先生
14:50 - 15:20	カールフィッシャー水分測定	日本ハネウエル株式会社 斎藤 新之祐 様
15:30 - 16:10	電池材料の元素分析 ～リチウムイオン電池～	アジレント・テクノロジー株式会社
	ハンドヘルド FTIR での材料の分析事例	株式会社エス・ティ・ジャパン 岸 靖之 様
16:20 - 16:50	耐性試験に用いる人工液の活用	林純薬工業株式会社
Day 3 : 4月18日 (木) 水道水質・環境分析セミナー		
10:00 - 10:10	ご挨拶	
10:10 - 11:30	特別講演 水道水質検査の基礎と応用 1 基礎編：告示法・通知法を理解するためのポイント	国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 小林 憲弘 先生
11:40 - 12:10	精確な濃度調製のために知っておきたい基本の基	林純薬工業株式会社
12:30 - 13:00	ICP-MS, ICP-OES の分析における自動化・省力化のご提案	アジレント・テクノロジー株式会社
13:10 - 14:30	特別講演 水道水質検査の基礎と応用 2 応用編：検査方法の最新情報と水質検査の将来予測	国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 小林 憲弘 先生
14:40 - 15:40	LC/MS の最先端 ～水道水質検査ワークフローの効率化と PFAS 分析の最前線～	アジレント・テクノロジー株式会社
	GC/MS の最先端 ～代替キャリアの最新事情と MassHunter 最新機能による解析時間短縮のための新たな提案～	アジレント・テクノロジー株式会社
	FTIR を用いた環境中のマイクロプラスチック定性分析	アジレント・テクノロジー株式会社
15:50 - 16:20	水道水質、環境分析に役立つ試薬のご紹介	林純薬工業株式会社
16:20 - 16:40	トークセッション	
Day 4 : 4月19日 (金) 午前 LC と GC の基礎ウェビナー第 3 回		
10:00 - 10:05	ご挨拶	
10:05 - 10:10	GC、LC のよくあるご質問と最新技術の取り入れ方	アジレント・テクノロジー株式会社
10:10 - 10:25	LC の失敗しない分析の工夫と高速分析への応用	アジレント・テクノロジー株式会社
10:25 - 10:40	GC のパックドカラムからキャピラリカラムへのメソッド移行	アジレント・テクノロジー株式会社
10:40 - 10:50	質疑応答	
Day 4 : 4月19日 (金) 午後 機器分析に役立つデータサイエンスウェビナー		
13:00 - 13:05	ご挨拶	
13:05 - 14:10	特別講演 食・農データサイエンス： コーヒー香気成分の分析データ・化学構造処理によるデータ・マイニング	奈良先端科学技術大学院大学 金谷 重彦 先生
14:20 - 15:05	残留農薬分析のためのデータサイエンス活用事例紹介	林純薬工業株式会社
15:10 - 15:55	失敗しない多変量解析のための質量分析データ取得・解析のポイント	アジレント・テクノロジー株式会社

アジレント・テクノロジー株式会社

〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
TEL.0120-477-111

DE99694202